

## 第5回八潮市庁舎建設基本計画策定審議会 議事録

開催日時	平成30年12月27日(木) 午後2時から3時30分まで	開催場所	市役所3階 議会委員会室
出席者 〔敬称略〕	(1号委員) 石井保、佐藤真貴、前田由美子 (2号委員) 齋藤友之、作山康、山田あすか (3号委員) 内田亜希子、金内美智留、齋藤勝、高橋秀夫、昼間竹雄、古庄正登		
欠席者 〔敬称略〕	(1号委員) 大森真理子 (3号委員) 廣瀬健一、三ヶ島幸生	傍聴者数	10人
審議内容及び審議結果の概要	1 開 会 2 会長あいさつ 3 第4回審議会議事録内容の確認 ※事務局説明、内容について了承 4 議 事 (1) 前回(第4回)審議会のふりかえり ※事務局説明 (2) 議題 ①基本計画(素案)のまとめについて ➤ 求められる機能の修正について ➤ 建築デザイン計画について ➤ 事業手法について ➤ 財源計画について ➤ 事業スケジュールについて ②答申内容の確認について ※①・②について、事務局から説明し、概ね了承いただいた。建築デザイン計画については、委員からの意見をいただき、修正を事務局で検討する。 5 その他 6 閉 会		
提供資料	・次第 ・席次 ・第4回審議会議事録(案) ・第5回八潮市庁舎建設基本計画策定審議会説明資料 ・庁舎建設基本計画素案たたき台 ・八潮市庁舎建設基本計画(素案)について(答申)案		

## 【議事詳細】

### 第5回八潮市庁舎建設基本計画策定審議会

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 第4回審議会議事録内容の確認  
※事務局説明、内容について了承
- 4 議 事

#### (1) 前回（第4回）審議会のふりかえり

事務局	資料に基づき説明
委員	(質問等なし)

#### (2) 議題

##### ①基本計画（素案）のまとめについて

事務局	資料に基づき説明
委員	「建築デザイン計画」とは思想のことか、意匠のことか。
事務局	思想のものと捉えている。
委員	なぜ建築デザインだけが取り出されて思想が記載されているのか疑問である。
事務局	求められる機能と重複する部分はあるが、求められる機能は庁舎部分のみ、建築デザイン計画は周辺も含めた考え方としてまとめている。
委員	建築デザインの考え方が分かりづらい。「周辺環境と調和」と「緑と調和」は似通っている。「シビックセンター中心核」も公園との一体感を謳っているため似通っている。記載順を整理した方がよい。また「八潮らしさ」というキーワードがなくなっている。「飽きのこないシンプルなデザイン」という表現が意匠に踏み込んでいると思うので書かない方がよい。例えば、「八潮らしさ」の表現は受取手によってシンプルであったり、違うものであったりすることが考えられる。
議長	景観まちづくりとの兼ね合いで建築デザインを記載されていると思う。太文字部分は微修正で良いと思うが、解説に工夫が必要かと思う。シンプルという言葉は一般の方にはイメージが固まりすぎてしまう。誤解の無いよう「飽きのこないシンプルなデザイン」は削除しても良いのではないか。
事務局	担当部と協議をした記載であるため、ご意見として頂戴し、再度庁内で検討する。
議長	庁舎オープン時期をこの時期にしなければいけないという理由はあるか。あくまで目標か。地盤の改良など予期せぬことが起こる可能性も考えられる。
事務局	2024年（平成36年）1月にはあくまで早期に整備することを目標に現時点の想定となっている。
委員	基本計画としては一般的な内容という印象である。八潮らしさが感じられない。
議長	基本計画でどこまで書き込むかという問題はある。現状ではなかなか表現しにくい。これから八潮らしさをつくってもらいたいという期待を表現するべきか、基本計画は一般的な記載に留め設計者の提案に期待するか、基本計画には載せないが審議会の意見として議事

	に残すのか、などといった方法もある。 ここで皆様と確認したいのは、標準的なオフィスビルをつくることではないということ。市役所だけでなくシビックセンター全体で八潮らしさをつくっていく。公園でゆったり過ごすライフスタイルがこれからの八潮らしさかもしれないし、今あるものだけでなくこれからのものも含めた八潮らしさかと思う。
委員	提案だが、藍染めは伝統工芸としてあるので、建物の基本色やアクセントに藍色を取り入れてはどうか。
委員	委員の皆様にお聞きするが、「八潮らしさ」とはなんだと考えているか。
委員	キーワードとしては、「川に挟まれた地域」「田んぼの広がる田園風景の平野」「夕方には筑波山、朝には富士山が見える」。その発展として中川の周辺を遊びの場として整備してきた。八條の地域では田園風景を残しながらどう開発していくかが課題となっている。
議長	日立市役所では廊下を外側に回し、市役所のどこからでも海が見えるようにした。効率的ではないが、「日立らしさ」には重要だった。直接的なデザインでなく、その場所で感じるものが「らしさ」につながっていくのではないかな。庁舎と連続した公園の例示としてパースが掲載されているが、もっと挑戦的なものがよい。吉川市役所はシンプルだが、隣接した市民交流施設の方が主役ということで市役所はシンプルで良いという考え方かと思う。
委員	色や形など市民が固執するような話がない。固執すると意見が割れるかもしれないが、それが魅力になると思う。これから伝えていきたい想いを計画に盛り込みたい。
委員	6ページ基本方針Vに関連する議論かと思う。当初この項目を示された段階では、具体的なイメージは今後提示されるということだった。これを受けての「建築デザイン計画」だと思いが具体的に提示されたことを受けて、再度基本方針がこれでよいのか議論した方がいいのではないかな。また21ページに「デザインを検討する」という書き方がされているが、デザインは機能ではないのではないかな。
議長	「審議会での意見」という項目を参考に追加してはどうかと思う。明確に方針として記載するのは難しいため、議論の内容を記載することで今後のヒントになるのではないかな。
委員	過去の議論や「るるぶ特別編集八潮市」、特産品をまとめた冊子の内容を参考にしてはどうか。
議長	緑や木材を取り入れてはどうか。保健センターなど一部だけでもぬくもりが感じられるようにしてはどうか。方針ではなく、審議会の意見として。
委員	建築デザインの④はデザインでなく目的に近いので最初の文章に入れるべきではないかな。また、③に八潮らしさの話を入れるべきではないかな。
議長	全体の流れを含めて事務局で再考していただきたい。
委員	武雄市の図書館が素晴らしい。心地がよく、海外からも見学者がくる。市長が強い意志で作ったものであると思う。小さい町だからできないわけではないと思う。
議長	公園や保健センターもあるので、単に手続に来るのではなく、楽しく過ごせる場所になるとよいのではないかな。
委員	市民大学に通っていたが、なかなか八潮の特徴を感じない。 今回の庁舎が「八潮らしさ」のひとつになってはどうか。

委員	八條図書館に池の傍で本が読める空間があり、くつろいでいる方や遊んでいる子どもがいる。庁舎がそういう空間になるべきかは別の問題だが、水辺空間は憩いの場になっている。
委員	今までの意見をつなげると「これからの八潮らしさのシンボルとなるデザイン、八潮の魅力やまちの活力を発信し、市民がこれからの八潮を自由な発想で考えていくきっかけとなるデザインとします。」となるかと思う。
議長	ここから新しい八潮らしさが始まるような文章、市役所が心地よく、みんなでこれからの八潮らしさをつくっていく場となるような記載にしていきたい。

②答申内容の確認について

事務局	資料に基づき説明
委員	(意見なし)

5 その他

事務局	次回の第6回審議会は1月15日(火)午前10時から八潮メセナ3階会議室で開催させていただきます。当日は答申と委員の皆様から感想をお願いします。
-----	---

6 閉会

(以上)